

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大阪国際滝井高等学校] 担当教諭名 [Carl Arvidson・出口 雅姫子] (1-3年 16名)

相手国・地域 [ベルギー]

海外学校名 [Go! Atheneum Keerbergen] 担当教諭名 [Eva De Hert / Evi Stuyck]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	課外活動	異文化理解	8
	課外活動	SDGs	7
	課外活動	壁画制作	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDGsのない輝く社会
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	すべての人が互いの個性を認め合い生きやすく自分らしさを出せる機会を持つ社会にしよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて深く学び、日本国内にとどまらず、相手国の実情についても理解できた。 大きなプロジェクトに向けて、皆で力を合わせ最後まで一生懸命取り組むことができた。 	<p>実際にビデオ通話などで交流を図ったり、意見交換を生徒同士が直接行ったりしたかったが、時差の問題、また希望者による取り組みのため、放課後の時間しか活動ができないという時間の制約があり、実現できなかった点。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> アートマイルに取り組む前は、ベルギーや世界の人達は意見をしっかり主張して譲らないというイメージを持っていたようだが、実際にこの取り組みをして、日本側の意見をしっかり聞いてもらえるだけでなく、自分たちの意見を否定せず、さらによりよいアイデアを追加してくれる姿勢に、感銘を受けていた。また、その姿勢を学ぶべきだと感じたようである。 世界の問題をもっと身近に考えるようになり、日本で起きている事柄だけでなく、世界で起きている自然災害をはじめとする様々なことに目を向けるようになった。 	<p>この取り組みを通して、国や社会がベルギーでは個性を大切にすることに対し、日本では和を大切にするという違いを改めて感じた。</p> <p><違い></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのビデオや発表を作る際に、ベルギーでは、「いち個人」として個性が出ていたが、本校生徒は、そのような取り組みの際に、個性を見せることができず、型にはまったような作品になっていた。 一方、壁画制作や何かを決める際、本校生徒は団結力があり、素早く行動に移し、協力して取り組んだりグループワークで力を発揮できていたが、ベルギーでは、協力して何かを決めたり、一つ一つのアイデアをまとめたりする際に、日本と比べると時間がややかかっているように感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルギーについて学習する ・自己紹介と、相手の国に関する質問を含んだ動画を撮影・共有する ・相手校からの質問への応答動画撮影・共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルギーの生徒と交流することが楽しく、ベルギーの生徒側が連絡先を共有してくれたため、生徒同士で交流を図った者もいた。 	課外活動
共有 テーマ学習	7月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の関心がある SDGs10・16 に関して、自国の抱える問題点をリストアップし、調べ学習により理解を深める ・調べた事柄を文書(相手校はプレゼン)にまとめ、情報共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内の課題について調べたことを、共有し、まとめて一生懸命発表できた。 ・相手校のプレゼンテーションを観て、意見交換ができた。 	課外活動
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの国が抱える問題を整理する ・壁面に込める世界へのメッセージを考える ・メッセージを英語に翻訳する 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校と連絡がうまく取れず、いくつかの取り決めが遅くなり、生徒は困っている様子だった。 ・世界へのメッセージを考える際に、3年生が下級生を引っ張り、互いの国の抱える問題を解決するための良いメッセージを考えることができた。 	課外活動
創造 壁画制作	11月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージを互いにイメージ化し、アイデアを共有する ・互いのアイデアを取り入れ、壁画制作、郵送する 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いにたくさんのアイデアがあったため、それらを融合させるのに苦労していたが、協力して下書きができた。 ・短時間で集中して壁画制作に取り組めた。 	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケートの実施(ベルギーでの経過途中の壁画制作の写真の鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒がSDGsやベルギーについての学習により、自分自身の成長につながったと感じている。 	課外活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	生徒がベルギーの生徒の発表を見て、違いを発見したり、SDGsについての世界の実情について学んだ時。調べたり、相手校のプレゼンテーションを観ることにより、自分の国についても改めて知れた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	メッセージを考える際や、SDGsの選定の際。相手校と意見がぶつかることはなかったが、自分たちの中で意見相違があり、学年を越えて提案や議論はできた。
主体的に考え行動する力	4	活動全般において。場所とテーマのみ、教師が与え、あとはすべて生徒だけで取り組んだ。特に、3年生がリードし、下級生も遠慮することなく積極的に行動していた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	相手の学校生活についての紹介や、それに対する質問をしたり、その逆をした際。直接対話する機会はなかったが、アプリなどを用いて互いに交流できた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージ作成・壁画制作の際。数ある課題やキーワードなどを上手に融合させ、世界に発信したいメッセージを考え、イメージ化ができた。